



若あゆだより

第16号（令和5年7月3日）

岩脇小学校学校だより

2年生のまちたんけん～自分たちのまちを知ろう～

6月27日(火)、2年生が生活科の学習で1回目の「まちたんけん」に行ってきました。今回は、南方面です。

三角公園では、虫捕りや遊具遊びなどに夢中になっていました。バッタやカマキリ、ダンゴムシなど、たくさんの生き物を発見したり、ブランコなどで思い切り遊びました。その後の道中では製材所に立ち寄り、たまたま出会わせて従業員のの方に急遽インタビューです。「この木はどこからきたの?」「何をつくってるの?」など低学年らしい素朴な質問に丁寧に答えていただきました。

このたんけんの目的は、「自分たちのまちを知る」「施設や自然などを発見する」ことです。2年生では、あと3回のたんけんを行う予定であり、1年生や3年生でも発達段階に応じた目的を持って、同様の活動を行っています。

繰り返し自分たちのふるさとについて学習し、理解を深めることで、ふるさとを愛する気持ちを高めていきたいです。



楽焼きをつくりました

6月28日(水)、毎年恒例の「楽焼き」に取り組みました。各学年ごとに決めた「動物」「海の生き物」「入れ物」「埴輪」などのテーマに沿って、子どもたちは形や模様を工夫しながら思い思いに作品を作り上げていきました。

焼成・色つけは、9月27日(水)の予定です。どんな作品に仕上がるか楽しみです。



海外からの体験入学

海外から一時帰国している〇〇〇〇さんが6年生に体験入学しています。以前も行っていましたが、コロナ禍によりこの3年間は中断していました。

体験入学早々、楽焼きや短歌づくり、水泳学習など日本ならではの活動となりましたが、持ち前の前向きさとまわりの友だちのあたたかさでしっかりと取り組んでいます。

約1ヶ月の体験入学ですが、それぞれの国の学校の様子、文化や価値観などにふれることで、お互いに刺激しあいながら共に成長できる1ヶ月にしていきたいです。

